

佐渡空港がリニューアルされます

トキエア就航にあたり、佐渡空港が新しく生まれ変わります。

新潟県では、佐渡空港の大幅な改良工事等を行いました。当協議会としても、全面的にバックアップし、一日も早い佐渡便就航を目指していきます。



○ターニングパッドの設置

ATR42 型機が滑走路端部で回転するために滑走路を拡幅しています。(工事中)



○気象観測機器の設置

風速計や雲高計などを設置し、気象情報を航空機に伝えます。



○空港ターミナルの増築

保安検査室と搭乗待合室の増築が完了し、今後、金属探知機などの保安検査機器を導入します。



○誘導路の拡幅

幅を 9m から 10.5m に拡幅、曲線半径を 20m から 30m に変更することで ATR42 型機の通行に対応します。



○エプロンの改良

ATR42 型機の駐機に対応するために舗装改良を行いました。小型機 4 機又は双発機 (ATR42 型機相当) 1 機が駐機できます。



○空港用化学消防車の追加

迅速に消化対応すべく、航空機の大機化に対応した化学消防車を追加しました。

佐渡空港滑走路
2,000m 実現
サポータークラブ
会員募集!!

Direct flight bus
直行ミニライナー
新潟空港 ⇄ 佐渡汽船
Niigata Airport ⇄ Sado Steamship

令和 7 年 1 月から、佐渡汽船新潟港⇄新潟空港ミニライナーが、さくら交通㈱の自主運行となりました。引続き、当協議会としても応援していきます。

運賃 大人 700 円 → 1,000 円
小人 350 円 → 500 円

【ご予約等】さくら交通(株)配車センター (☎025-274-3232)



つなげよう滑走路 2 千メートルへ!!



佐渡新航空路開設促進協議会 事務局: 佐渡市観光振興部交通政策課 〒952-1292 佐渡市千種 232 番地
☎ 0259-63-3184 / FAX 0259-63-5125 ホームページ <https://s-kuko2000.com>

HISYO
KUKO

飛翔

Vol.22

令和 7 年 3 月発行

朱鷺と共に羽ばたく未来へ



Take off for the future of SADO island

夢・希望・可能性 明日の空へ
佐渡新航空路開設促進協議会

佐渡空港と首都圏を つなぐ空路の開設へ



新潟空港拠点の地域航空会社「トキエア」は2024年1月31日の札幌(丘珠)線就航を皮切りに、仙台線、名古屋(中部)線と順調に路線を拡大しています。

いよいよ首都圏と新潟を結ぶ路線の開設に向け、準備を進めているとのこと。首都圏路線の開設は、島内にどのような効果をもたらすのでしょうか？

2024年の観光動向インバウンドの急回復

2024年訪日客数過去最高を達成

日本政府観光局(JNTO)の発表によると、2024年訪日客数は11月までの累計で、約3300万人と、過去最高だった2019年の年間合計3188万人を超え、記録を更新しました。

円安を追い風に需要拡大

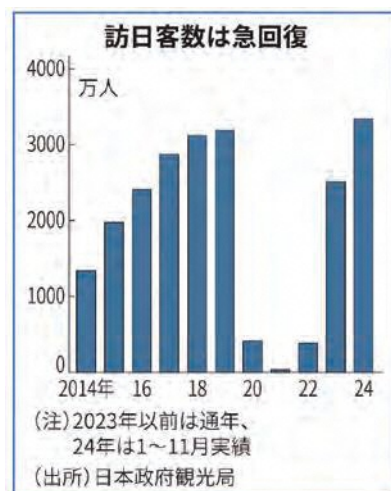
コロナ渦中の2020年に実施されたアンケート、「DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査(第2回新型コロナ影響度特別調査)」において、アジア欧米豪地域の人々にとって、日本は「食事の美味しさ」「清潔さ」「治安の良さ」を理由に「次に海外旅行したい国・地域」として1位を獲得していました。

そして2024年は円安の追い風もあり、日本旅行は外国人にとって割安感のある旅行先となり、インバウンドの急回復を後押ししました。

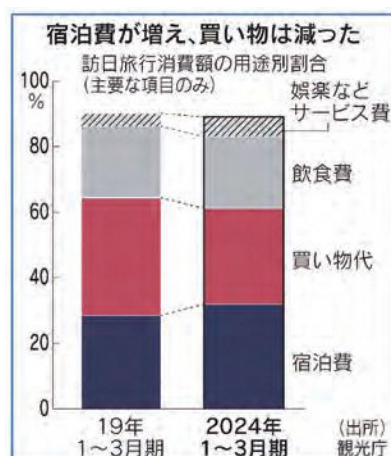
多様化する旅行目的、 「モノ消費」から「コト消費」へ

コロナ渦前のインバウンド消費と言えば、中国人旅行者を中心としたモノを対象とした「爆買い」が印象的でした。しかし現在は、インターネットやSNSなどでより簡単に日本の情報を入手できるようになったことから、日本旅行の理由も買い物だけではなく、文化や風土に触れるなど、より充実した体験に消費を費やす、「モノ消費」から「コト消費」へのシフトが見受けられます。

先述の円安の影響もあり、日本旅行は割安感があることから、宿泊先のグレードを高くするなど、高価格帯の消費拡大に寄与しました。こうしたことから、今のインバウンド旅行者は特別な体験目的に来日する割合が高いことがうかがえます。



【出典】
24年の訪日客、過去最高に
1~11月累計で19年通年超す
(日本経済新聞電子版 2024年12月18日)



【出典】
円安で「コト消費」沸騰
3月の訪日客、初の300万人突破
(日本経済新聞電子版 2024年4月17日)

インバウンド需要を地方へ

観光庁の調査によると、2023年10月の外国人延べ宿泊者数は約1226万人で、うち7割超の宿泊先は東京、大阪、京都の三大都市圏が占めます。背景には、地方空港で海外との直行便の復便が遅れている影響も指摘されています。こうした中で、「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録など地域資源を活用した特別な体験などの観光コンテンツの造成や高付加価値な観光地づくりの着手も急務です。インバウンドの地方誘客支援として観光庁は、政府の2024年度補正予算案に80億円を盛り込んでいます。各地域のインフラ整備、受け入れ態勢の構築はインバウンド需要取り込みのためにも急務であることがうかがえます。

成田線の開設へ いよいよ悲願の首都圏乗り入れに向けて

2024年12月、新潟空港を拠点とするトキエアは成田国際空港の発着枠を確保できる見通しであることを各報道機関が発信した。トキエアは「新潟⇄成田」「佐渡⇄成田」就航を目指しています。

成田国際空港は日本の空港の中で外国人入国者数がトップの空港であり、「佐渡⇄成田」が実現すれば訪日外国人の佐渡への乗り継ぎの利便性も向上し、外国人旅行者の来島機会の増加が見込まれます。

さらに、大消費地である首都圏と佐渡が空路で直接結ばれることにより、観光のみならず、農畜水産物の物流や、移住、島内起業などの人口増加の可能性もうかがえます。また、空路開設により、首都圏における佐渡の露出が増えることにより、佐渡の魅力を知り、何らかの理由で継続的にまたは複数回にわたり佐渡を訪問し、地域との関りを強めようとする、いわゆる「関係人口」の増加にもつながる可能性を秘めています。

このように、佐渡空港と成田国際空港との間で定期便が就航することにより、人・物・情報の交流がより活発になり、島内に大きな経済効果をもたらすことが想定されます。

一日も早く、首都圏との航空便が開設されることを望みます!!



最新情報はトキエア予約サイトにてご確認ください



<https://toki-air.com>

トキエア

「TOKIサポート」(コールセンター)

☎ 0570-023-237 営業時間: 8:00-20:00 (年中無休)

予約の際には
ご使用ください

トキエア公式SNSをフォローして
最新の情報をGETしよう!



LINE



Instagram



X (Twitter)



Facebook



佐渡新航空路開設促進協議会は、これからもトキエアを応援していきます。